

ME/CFS患者実態調査のための体制整備

研究分担者： 太田康之 山形大学大学院医学系研究科・内科学第三講座神経学分野

研究協力者： 佐藤裕康、近藤敏行 山形大学大学院医学系研究科・内科学第三講座神経学分野

研究要旨

「筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群」（ME/CFS）患者の実態調査のための体制整備を検討するため、2021年4月～2022年3月に山形大学医学部附属病院に入院した、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）を認めた神経疾患患者の症状を検討し、新規の歩行機能解析法の開発を試みた。

A. 研究目的

ME/CFS 患者の実態調査のための体制整備を検討するため、山形大学医学部附属病院に入院した、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）を認めた神経疾患患者の症状を検討し、新規の歩行機能解析法の開発を試みる。

B. 研究方法

2021年4月～2022年3月に山形大学医学部附属病院に入院した、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）を認めた ALS 患者 1 名、脳梗塞患者 1 名の症状を評価した。また、新規の歩行機能解析法の開発のため、山形県住民を対象に iOS アプリを用いた歩行機能解析を行う。

（倫理面への配慮）
個人情報保護に配慮した。

C. 研究結果

COVID-19 を認めた ALS 患者 1 名と脳梗塞患者 1 名に、筋痛性脳脊髄炎を疑う症状は認めなかった。山形県在住住民 92 名を対象に iOS アプリを用いた歩行機能解析を行い、現在解析中である。

D. 考察

COVID-19 感染後に ME/CFS を発症することがあるが、自験例では認めなかった。詳細の運動機能評価のため、新規の歩行機能解析法の有用性を検討する必要がある。

E. 結論

自験例では、COVID-19 感染後の ME/CFS 発症を認めず、引き続き ME/CFS 患者の実態調査のための体制整備を検討する必要がある。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

1. 論文発表

1. Suzuki Y, Iseki C, Igari R, Sato H, Koyama S, Kawahara H, Itagaki H, Sonoda Y, Ohta Y. Reduced cerebral blood flow of lingual gyrus associated with both cognitive impairment and gait disturbance in patients with idiopathic normal pressure hydrocephalus. *J Neurol Sci*, 437:120266, 2022.

2. 学会発表

1. 近藤敏行, 伊関千書, 星真行, 深見忠典, 青柳幸彦, 山田茂樹, 太田康之. 高齢住民での歩行機能と認知機能の関連性の検討. 第 12 回日本脳血管・認知症学会, 東京, 8. 6, 2022.
2. 近藤敏行, 伊関千書, 星真行, 深見忠典, 青柳幸彦, 山田茂樹, 太田康之. iOS アプリを用いた高齢者の認知機能と歩行の関連性の検討. 第 11 回日本認知症予防学会, 福岡, 9. 23-25, 2022.
3. 近藤敏行, 伊関千書, 星真行, 深見忠典, 青柳

幸彦, 山田茂樹, 太田康之. iPhone アプリ walk (マーカーレス 3D モーションキャプチャー) を用いた加齢と歩行速度, 膝関節角度との関連性の検討, 横浜, 10.15-16, 2022.

4. 近藤敏行, 伊関千書, 星真行, 青柳幸彦, 山田茂樹, 太田康之. 高齢住民における歩行機能とVSRADでの脳萎縮との関連性の検討. 第11回日本認知症予防学会, 甲府, 10.28-29, 2022.

H. 知的財産権の出願・登録状況
該当なし